

# 千葉大学 教育学部 学部案内

FACULTY OF EDUCATION CHIBA UNIVERSITY



「未来を創る人を育てる」



## 令和5年度千葉大学教育学部学部案内

■ 千葉大学教育学部 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号

■ 最新の情報はHPをご覧ください！ <https://www.education.chiba-u.jp/>



千葉大学  
CHIBA UNIVERSITY

## 目次

- P.1 学長・学部長挨拶
- P.2 教育学部の3つの特徴
- P.4 学校教員養成課程 組織図
- P.5 取得可能な免許状
- P.6 コース紹介 小学校コース
- P.8 " 中学校コース
- P.10 " 小中専門教科コース
- P.12 " 英語教育コース
- P.13 " 特別支援教育コース
- P.14 " 乳幼児教育コース
- P.15 " 養護教諭コース
- P.16 教育実習・学校教育体験
- P.20 活躍する卒業生
- P.21 留学するには
- P.22 卒業後の進路状況
- P.23 入試情報・過去の志願倍率
- P.24 関連組織・教育研究施設の紹介

学ぶ楽しさを伝える 教育者の養成

Learning is fun!



## 世界を牽引する教育者を目指そう

千葉大学は、教育研究活動のグローバル化に伴い、広く世界と連携した活動を強く進め、国際化社会の未来をリードする人材の育成を目指しています。そのために特色ある教養教育を推進するとともに、英語によるコミュニケーション能力を育成するカリキュラムや、全員留学必修化など、学生を支援する体制や主体的に学べる学修環境を充実させています。

その中でも教育学部は、その前身の千葉師範学校の時代から「学ぶ楽しさを伝える教育者の養成」をモットーとして、優れた指導的立場に立つ教育者を日本全国に輩出しています。

我が国の初等中等教育も国際化に向けた改革が進められており、令和2年度から小学校で英語が教科となりました。そのため教育学部では、学生の英語力養成に向けた

教育をさらに強化しています。

このような素晴らしい教員養成実績と充実した教育体制を誇る千葉大学教育学部において、総合大学としての多彩な教育環境の下で他学部の学生たちと切磋琢磨することにより、世界を牽引する教育者を目指しましょう。

千葉大学長  
中山 俊憲



## 転機を迎えつつある学校現場と大いに関わりながら、 新たな時代の教育を、ともに考え、ともに創っていこう

今、学校教育は大きな転機を迎えています。GIGAスクール構想による1人1台コンピュータ環境の実現、子どもたちが能動的に学ぶ「主体的・対話的で深い学び」や多様性を尊重した「個別最適な学び」の推進、教員の働き方改革や部活動の地域移行……ここ数年の間に、次々と大きな変化が起きています。

千葉大学教育学部は、150年の伝統を誇り、常に時代の最先端の教育のあり方を研究し、それぞれの時代に求められる教員養成教育を行ってきました。そして今、新しい時代の教育を担える人々を育てるために、学生諸君が深い教養と専門性を身につけるとともに、学校現場と大いに関わって実践的な力量を伸ばせるようにする教育を進めています。

現在、全国的に、意欲のある若い方々が多く教員となることが求められています。千葉

大学教育学部では、千葉県教育委員会等と連携して、教員の働き方改革や若い教員の支援を進め、教員志望者が学校現場の実態を理解した上で安心して働けるようにする取り組みを進めています。学部内でも、教育学部同窓生で教員経験が豊富な方々に「特命教授」として学生諸君の進路相談に乗っていただいていることをはじめ、さまざまな取り組みを行っています。

千葉大学教育学部には、学部と近接し密接に連携している附属学校園、学校現場と密接に関わりながら教育・研究を進める教員、地域の教育委員会や学校との深い連携、独自の留学プログラム等の強みがあります。近未来の教育を担い、子どもたちのために貢献しようという志をもつ人を、私たちは求めています。

教育学部長  
藤川 大祐



# 教育学部の

# 3つの特徴

学校現場の状況が変化している昨今、教員をめざす学生が教職課程で修得すべき内容は広がり、教員養成を行う大学にはそれに応じた創意工夫が求められています。千葉大学教育学部は、時代のニーズと変化に対応できる指導的立場に立つ教員のさらなる育成を目指し、令和元年度より小学校、中学校、小中専門教科、英語教育、特別支援教育、乳幼児教育及び養護教諭の7つのコースに再編しました。

## 1

### 教科・校種を越えた複数の免許状の取得

- 校種によらない専門性と実技能が求められる音楽、図画工作・美術、保健体育、家庭科教育に関する小中専門教科コースでは、小学校教諭・中学校教諭両方の免許状を取得します。
- 小学校英語の指導力向上や国際理解教育等の必要性に応じて定員を拡大した英語教育コースでも、校種によらない専門性と実技能を身に付けることを目指し、小学校教諭・中学校教諭両方の免許状を取得します。

### 充実した教育実習と学校教育体験

- 4年間を貫く必修の教育実習プログラムが用意されています。
- 希望により選択可能なセレクト実習も履修できます。
- 学校におけるインターンシップが必修です。また、選択で教育関係でのボランティア活動も単位が認定されます。



- 中学校コース(国語、社会、数学、理科、技術)では所属分野の教科の免許状に加えて、中学校他教科あるいは特別支援学校教諭二種免許状を第2免許として取得します。
- 特別支援教育コースでは特別支援学校教諭免許状に加えて、小学校教諭または中学校教諭の免許状を取得します。
- 乳幼児教育コースでは幼稚園教諭免許状に加えて、小学校教諭二種の免許状を取得します。さらに保育士資格取得も推奨されます。
- 小学校コースや養護教諭コースでも、他の免許状取得が推奨されます。



### 広範囲にわたる基礎科目のほか、実践力と応用力をつける多数の授業科目

- 1年次の新生セミナーの中で、さらに、小学校・中学校・小中専門教科・英語教育の各コースでは授業研究入門の中で、それぞれ複数回の附属学校園見学を行います。
- 学部に隣接する附属幼稚園・附属小学校・附属中学校を往来する授業や、低学年児童との交流を行う授業も履修できます。
- 学校でのニーズの高い、小学校英語教育、小学校での教科外活動、インクルーシブ(特別支援)教育、国際理解教育の各方面の力をつける大学独自の科目群が用意されています。

## 3

# 学校教員養成課程 組織図

学校教員養成課程

計 380名

小学校コース	国語科選修	25名	計 163名	→ P.6へ
	社会科選修	25名		
	算数科選修	25名		
	理科選修	25名		
	教育学選修	30名		
	教育心理学選修	25名		
	ものづくり選修	8名		
中学校コース	国語科教育分野	8名	計 42名	→ P.8へ
	社会科教育分野	7名		
	数学科教育分野	10名		
	理科教育分野	10名		
	技術科教育分野	7名		
小中専門教科コース	音楽科教育分野	15名	計 70名	→ P.10へ
	図画工作・美術科教育分野	15名		
	保健体育科教育分野	25名		
	家庭科教育分野	15名		
英語教育コース		35名		→ P.12へ
特別支援教育コース		25名		→ P.13へ
乳幼児教育コース		20名		→ P.14へ
養護教諭コース		25名		→ P.15へ

# 取得可能な免許状

## 小学校コース

- ・国語科選修
- ・社会科選修
- ・算数科選修
- ・理科選修
- ・教育学選修
- ・教育心理学選修
- ・ものづくり選修

### 卒業と同時に取得する(必須の)教員免許状

- 小学校教諭一種

## 小中専門教科コース

- ・音楽科教育分野
- ・図画工作・美術科教育分野
- ・保健体育科教育分野
- ・家庭科教育分野

### 卒業と同時に取得する(必須の)教員免許状

#### A選択

- 小学校教諭一種
- 中学校教諭二種(所属分野の教科)

#### B選択

- 小学校教諭二種
- 中学校教諭一種(所属分野の教科)

## 中学校コース

- ・国語科教育分野
- ・社会科教育分野
- ・数学科教育分野
- ・理科教育分野
- ・技術科教育分野

### 卒業と同時に取得する(必須の)教員免許状

- 中学校教諭一種(所属分野の教科)
- 中学校教諭二種(所属分野以外の教科) または特別支援学校教諭二種

## 英語教育コース

### 卒業と同時に取得する(必須の)教員免許状

#### A選択

- 小学校教諭一種
- 中学校教諭二種(英語)

#### B選択

- 小学校教諭二種
- 中学校教諭一種(英語)

## 養護教諭コース

### 卒業と同時に取得する(必須の)教員免許状

- 養護教諭一種

## 乳幼児教育コース

### 卒業と同時に取得する(必須の)教員免許状

- 幼稚園教諭一種
- 小学校教諭二種

## 特別支援教育コース

### 卒業と同時に取得する(必須の)教員免許状

- 特別支援学校教諭一種(知的障害・肢体不自由・病弱)
- 小学校教諭一種または中学校教諭一種(1教科)

## 全コース・分野等共通

### 所定の単位を修得することで取得可能な教員免許状

- 幼稚園教諭一種・二種
- 小学校教諭一種・二種
- 中学校教諭一種・二種(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語)
- 高等学校教諭一種(国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、家庭、工業、英語)
- 特別支援学校教諭一種・二種(知的障害・肢体不自由・病弱)
- 養護教諭一種・二種

### 取得可能な資格

- 社会教育士(社会教育主事養成課程)
- 学芸員
- 図書館司書
- 保育士(乳幼児教育コースのみ)

### 必須ではない教員免許状取得の推奨の例

- 小学校コースでは中学校・高校各教科、幼稚園、特別支援学校の免許状取得を推奨
- 養護教諭コースでは中学校・高校保健の免許状取得を推奨
- 中学校各教科の一種免許状の取得者には、その教科の高校免許状取得を推奨
- 乳幼児教育コースでは保育士資格取得を推奨

# 小学校コース

新たに教科となった英語や道徳にも自信を持って対応できる教員を目指す

このコースでは、国語科選修、社会科選修、算数科選修、理科選修、教育学選修、教育心理学選修、ものづくり選修に分かれて学習し、全ての教科に対応できる力を身に付けることはもちろんのこと、その中でもとくに一つの教科に強みを持った小学校教員の養成を目指します。

新たに教科となった英語を現場で自信を持って教えることができるよう、必修科目である「小学校英語」「小学校英語科教育法」「専門英語（小学校）」に加え、小学校英語指導実践に関する科目や小学校英語教育探究科目など、小学校英語に関する科目が多数用意されています。

新たに教科となった道徳に関する科目や、現代的な教育課題に対応する科目も豊富に用意され、興味関心に応じて履修することができます。

## 国語科選修

ことばの持つ豊かな力を常に意識して児童と向き合い、ことばの学びをひらく新しい国語教育を担う教員の養成を目指しています。国語教育の理論と実践に関する科目を中核として、日本語や文芸に関する専門性を指導に活かせる力を身に付けます。

## 社会科選修

社会科の教科内容に即した専門的な授業を履修するとともに、博物館や史料館などの公共施設を訪問したり、身近な地域に関する実地調査を行ったりします。さらに、附属小学校の授業を観察し、授業開発能力を鍛えます。

## 算数科選修

小学校の先生でも数学に強い教員になることを目指し、高校数学を発展させた微積分や線形代数、さらには算数・数学を論じるための数学的基礎となる集合・写像・順序などを履修します。多くの学生は中学校教諭（数学）一種免許状も取得して小中の接続に配慮して指導できる教員として卒業します。

## 理科選修

自然の不思議や科学の面白さ・大切さを伝えることができる教員の養成を目指しています。理科の授業研究や、生命と地球、物質とエネルギーの授業や卒業論文を通して、観察・実験、科学的なものの見方の素養を深め、理科に強い小学校教員として卒業します。

## 教育学選修

子どもたちが主体的に学ぶことのできる授業づくり、道徳・特別活動・生活科や総合的な学習の時間の指導方法、地域に開かれた学校づくり、いじめや不登校、非行・虐待の問題に対処する方法、教育政策、教育行財政のあり方などを総合的に学びます。

## 教育心理学選修

教科の枠組みにとらわれず子どもがかかえる心の問題に広く対応できる人材の養成を目指しています。児童の発達や学習に対する科学的な研究方法を土台に、生徒指導、教育相談、学習指導などに関し実践的に考える力を身に付けます。

## ものづくり選修

技術は文化・学術の母胎であり、技術的な体験は子どもの成長・発達にとって極めて大切です。本選修では、ものづくり体験を重視し、その教育的価値を技術教育の見地から探究します。全人的な教育・指導ができる教員の育成を目指しています。



## 学外

### 【学校教育体験】

- 4年次 教育ボランティア研修Ⅲ（選択）
- 3年次 学校インターンシップ基礎実習A（必修）  
教育ボランティア研修Ⅱ（選択）
- 2年次 小学校セレクト実習Ⅱ・Ⅲ（選択）  
教育ボランティア研修Ⅰ（選択）
- 1年次 小学校セレクト実習Ⅰ（選択）

### 【教育実習】

- 4年次 フォロー・アップ実習  
教育実習総合討論  
副専攻実習
- 3年次 コア実習  
介護等体験
- 2年次 プレ実習
- 1年次 スタート・アップ実習

大学での学びを現場で実践

現場での課題を大学で探究

## 学内

### 【小学校教科及び教科の指導法に関する科目】

全ての教科について、自信を持って教える力を身に付けます。

- 各教科の指導法(10教科)
- 教科に関する専門的事項(10教科)

### 【学校及び教育の諸課題に関する科目等】

国際理解教育やインクルーシブ教育など、現代的な課題について学びます。児童の発達や心理、特別活動についても幅広く学びます。

- 通常学級における特別支援教育
- グローバル授業づくり入門
- 小学校英語実践
- 小学校道徳教育実践演習
- 特別活動の理論と実際
- 心理発達支援論 など

### 【選修に関する科目】

所属する専修の科目を得意科目にできるよう、深く学びます。

- ことばと文化
- 現代の社会
- 図形と計量
- 物質とエネルギー
- 学級づくり実践演習
- 教育心理基礎演習
- ものづくり入門 など

### 【専門基礎科目】

大学の授業や実習に関する基礎を学びます。

- 新入生セミナー
- 授業研究入門 など

※このほかに、普通教育科目や「卒業論文」などの科目があります。

## 授業紹介

### 児童発達心理学

教育活動に不可欠な子どもの心の発達について学びます。特に、子どもが社会の中で生きていく上で重要な自己や他者の心の理解、ことば、対人関係に焦点をあて、その発達プロセスについての理解を深めてもらいます。

### 小学校算数科教育法

算数科の問題解決やその授業を体験したり、今後の教育の目標を教材として具体化したり、教科書や学力調査をもとに児童の反応を予想したりすることを通して、算数科教育を実践していく力を身に付けていきます。



## 学生メッセージ

学校教員養成課程  
小学校コースものづくり選修  
知久 勝春  
(東京都出身)

小学校コースでは各教科の指導法ならびに専門的な内容を学ぶことができ、小学校教員に必要な能力を身に付けることができます。ものづくり選修では、他の教科選修とは違い、教科にとらわれない学校教育における“ものづくり”を学ぶことができます。子どもたちの好きな、手を動かすような活動について実践的に学ぶことができます。教科にとらわれない自分だけの得意分野を手に入れることができます。千葉大学教育学部は、複数免許を取得しやすく、近接する附属の幼稚園、小学校、中学校があるため、実習機会に恵まれています。4年間を通して、小学校教員になるために充実した学生生活を送ることができると思います。

# 中学校コース

教科の高い専門性を持ち他教科との連携も視野に入れた教員を目指す

このコースでは、国語科教育分野、社会科教育分野、数学科教育分野、理科教育分野、技術科教育分野に分かれ、少人数教育による学習を進めることにより、高い専門性を持った中学校教員を養成します。

専門とする教科の中学校教諭一種免許状のほかに他教科の中学校教諭二種免許状または特別支援学校教諭二種免許状を取得することで、社会のニーズに応え現代的な課題に対応できる教員を目指すことができます。

教科の内容と教育法との横断的な科目が用意されており、少人数を活かしながら実践的に教える力を身に付けることができます。

## 国語科教育分野

日本のことばや文芸・文化に興味・関心を持ち、現場において教育実践をリードするための行動力と協調性を兼ね備えた教員の育成を目指しています。本作りなどの活動や、学生参加型の討議・発表する活動を多く取り入れた授業が展開されています。

## 社会科教育分野

歴史学、地理学、法学、政治学、社会学、経済学、哲学の各専門科目を学んで専門的知識を深めるほか、社会科教育学として授業のあり方を学んでいきます。社会に対して興味・関心を持ち、それらについて専門分野から探求を深めていくことが期待されます。

## 数学科教育分野

代数学、幾何学、解析学、確率論・統計学、数学教育学について多くの講義が開設されています。どの科目も基礎的なところから高度な内容まで学習します。また、コンピュータと関連した数学の学習も進めています。

## 理科教育分野

自然科学と理科教育の講義やセミナーに加え、自然科学の様々な分野の実験・実習を開設しています。フレッシュな思考と情熱で、自然科学の面白さを青少年に伝える意欲と能力を備えた仲間を一人でも多く増やしていきたいと考えています。

## 技術科教育分野

技術科ではものをつくることを通して知識と行動を結びつけることを大切にします。具体的なものを対象とする際の裏づけとなるテクノロジー（技術の科学）を学び、それを技術科の教育の実際はどう展開するかを考えていきます。



## 学外

### 【学校教育体験】

- 4年次 教育ボランティア研修Ⅲ (選択)
- 3年次 学校インターンシップ基礎実習A (必修)  
教育ボランティア研修Ⅱ (選択)
- 2年次 中学校セレクト実習Ⅱ・Ⅲ (選択)  
教育ボランティア研修Ⅰ (選択)
- 1年次 中学校セレクト実習Ⅰ (選択)

### 【教育実習】

- 4年次 フォロー・アップ実習  
教育実習総合討議  
副専攻実習
  - 3年次 コア実習①  
コア実習②  
介護等体験
  - 2年次 プレ実習
  - 1年次 スタート・アップ実習
- ※特別支援学校教諭二種免許を第2免許として選択する場合、この他に、障害児教育コア実習があります。

大学での学びを現場で実践

現場での課題を大学で探究

## 学内

### 【所属分野の教科及び教科の指導法に関する科目】

所属する分野の教科について、自信を持って教える力を身に付けます。

- 教科の指導法  
(国語科教育実践研究・社会科教育概論・数学科教育法基礎・理科教育課程論・技術科教育法 など)
- 教科に関する専門的事項  
(日本の古典を読む・人文地理学特講・代数学・物理学演習・電気磁気学 など)

### 【学校及び教育の諸課題に関する科目等】

国際理解教育やインクルーシブ教育など、現代的な課題について学びます。生徒の発達や心理、特別活動についても幅広く学びます。

- 特別支援学級の子どもの理解と支援
- グローバル授業演習(海外研修)
- 発達と学習の心理学
- メディア社会と学校教育
- 実践から学ぶ教職論 など

### 【第2免許に関する科目】

第2免許の科目について「指導法」と「教科内容」を学びます。

- 教科の指導法
- 教科に関する専門的事項

※特別支援学校教諭二種免許を第2免許として選択する場合は、特別支援教育に関する科目を学びます。

### 【専門基礎科目】

大学の授業や実習に関する基礎を学びます。

- 新入生セミナー
- 授業研究入門 など

※このほかに、普通教育科目や「卒業論文」などの科目があります。

## 授業紹介

### 社会科・公民科教育演習Ⅰ

小・中・高の社会科・公民科を対象に、授業づくりのための目標・内容・方法・評価について学修したり、論文を読んで社会科の授業実践のあり方を受講生と共に議論したりしています。



### 教育基礎論

教育とはどのようなものなのかについて、思想・歴史から読み解きます。これにより、現代の学校教育等が抱える課題に対応するために求められる、教育についての考え方を深めます。



## 学生メッセージ



学校教員養成課程  
中学校コース社会科教育分野  
水落 大智  
(千葉県出身)

「中社は家族」この言葉がぴったりな学科、その名も中学校社会科、通称中社は1学年が1桁の学生数からなる中学校コースに位置づく分野です。そのため、必然的に同じ空間で同じ時間を共有する機会が多く、また居心地よいことから、授業も教育実習も同期と共に切磋琢磨し、乗り切りっています。4学年あわせても30人強であるため、縦の繋がりが重視しており、様々な場面で懇親を深めています。また、中社は学業に熱心な学生が多いという印象です。卒業研究では社会科教育学のみならず歴史学、地理学、経済学等様々な分野から選択することができます。幅広い分野を学ぶことができることも、中社の魅力の一つだと思います。中社に入学すれば、このような濃密な時間を過ごすことができるとは思いますし、「千葉大生」とともに「中社」の一員であるというアイデンティティも得ることができるでしょう。

# 小中専門教科コース

高い専門性を活かし小中の連携も図ることができる教員を目指す

このコースでは、小学校及び中学校で専門性が求められる教科である音楽、美術（図画工作）、保健体育、家庭科に特化して、高い実技力や専門性を有する小学校及び中学校教員を養成します。

A 選択では、小学校教諭一種免許状と所属する教科の中学校教諭二種免許状、B 選択では、所属する教科の中学校教諭一種免許状と小学校教諭二種免許状を、それぞれ取得することができます。

小学校と中学校との有機的な連携を図り、教科の専門性を身に付けつつ、複合的な視野を持った教員を目指すことができます。

## 音楽科教育分野

音楽的専門性の高い授業や実践場面を想定した授業などを通して、音楽のよさを体験し教員としての専門性を高めることができます。個別指導や集団でのアンサンブル活動、日本の楽器に触れる授業など、特色ある授業も多く展開し、音楽教育者として様々なニーズに応え得る人材の育成を目指します。少人数によるきめ細やかな指導が最大の特長といえるでしょう。

## 図画工作・美術科教育分野

子どもたちが創造的に表現する喜びを感じる授業実践ができる教員の育成を目指しています。絵画や彫刻、デザインや工芸、美術史や美術理論、そして美術教育論などを幅広く学習します。基礎から発展へと積み重ねられたカリキュラムによって、それぞれの興味に従って学ぶことができ、自らの専門性を高めていきます。

## 保健体育科教育分野

児童・生徒にスポーツ等の運動実践を通してからだを動かすことの楽しさを実感させるとともに、他者との交流の中での豊かな人間形成に寄与し、学校現場の様々な課題に即応して優れた問題解決能力を発揮する教員の養成を目指しています。そのための専門的な知識、技能、実践的指導力を講義、実技、宿泊を伴う実習を通して身に付けます。

## 家庭科教育分野

家庭科が学びの対象とする生活の諸問題は、多元的で重層的な構造をしています。家庭科教育分野では、自分自身の生き方から地球環境にまで及び人間の生活全般を、文化的、社会的、科学的な幅広い視野で学びます。講義や演習に実験・実習的な内容も組み込まれ、内容や授業形態のバランスに配慮したカリキュラムが展開されています。



## 学外

### 【学校教育体験】

- 4年次 教育ボランティア研修Ⅲ (選択)
- 3年次 学校インターンシップ基礎実習A(必修)  
教育ボランティア研修Ⅱ (選択)
- 2年次 セレクト実習Ⅱ・Ⅲ (選択)  
教育ボランティア研修Ⅰ (選択)
- 1年次 セレクト実習Ⅰ (選択)

### 【教育実習】

- 4年次 フォロー・アップ実習  
教育実習総合討論  
副専攻実習
- 2年次 A選択 プレ実習(小)  
B選択 プレ実習(中)
- 1年次 スタート・アップ実習
- 3年次 A選択 コア実習(小)  
B選択 コア実習(中)  
介護等体験

大学での学びを現場で実践

現場での課題を大学で探究

## 学内

### 【所属分野の教科及び教科の指導法に関する科目】

所属分野の教科の「指導法」と「専門的事項」を学び、教科について、自信を持って教える力を身に付けます。

- 教科の指導法  
(音楽科教育法・美術科教育実践研究・保健体育科教育・家庭科授業論など)
- 教科に関する専門的事項  
(合唱・絵画実習・運動方法実習・食生活論 など)

### 【学校及び教育の諸課題に関する科目等】

国際理解教育やインクルーシブ教育など、現代的な課題について学びます。児童・生徒の発達や心理、特別活動についても幅広く学びます。

- 特別支援学級の子どもの理解と支援
- グローバル授業演習(海外研修)
- 発達と学習の心理学
- メディア社会と学校教育
- 実践から学ぶ教職論 など

### 【小学校教科及び教科の指導法に関する科目】

小学校の各教科について自信を持って教える力を身に付けます。

- 各教科の指導法(10教科)
- 各教科に関する専門的事項(10教科)

### 【専門基礎科目】

大学の授業や実習に関する基礎を学びます。

- 新入生セミナー
- 授業研究入門 など

※このほかに、普通教育科目や「卒業論文」などの科目があります。

## 授業紹介

### 小学校音楽科教育法

小学校の音楽科の授業の目標や内容、教材、指導方法等についての理解を深め、小学校音楽科の指導案が作成できるようになることを目指す授業です。音楽の実技の活動を随時取り入れ、小学校音楽科の授業を実践するために必要な音楽の基礎的な知識と技能を習得します。

### 小学校家庭科教育法

家庭科は小学生がよりよい生活をつくっていくことを支える教科です。そのために、家庭科で何をどのように指導するのか、基礎的な知識やスキルを学び、授業づくりを行います。被服製作や調理実習では、実践的に理論を学びます。児童が楽しんで家庭科を学べるような指導力育成を目指しています。



## 学生メッセージ

小中専門コース  
亀山 瑠佳  
(茨城県出身)

千葉大学教育学部小中専門教科コースでは、教員になるための能力を身につけられる授業だけではなく、専門分野に特化した授業を受けることができます。

図画工作・美術科教育分野では、絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術史などの美術専門の授業や、図画工作科教育法や美術科教育法などの教科の学習指導に関する授業を受けることができます。制作の授業では、学生同士で言葉を交わしながら活動することができ、多様な感性に触れながら、基礎から自身の造形的見方・考え方をより深めることができます。教育法の授業では実際の授業を想定した模擬授業を行い、その経験は教育実習で授業を行う際の自信につながります。

また、それぞれの専門分野が少人数制であるため、学生間の親睦が深まり、きめ細やかな指導を受けることができます。

# 英語教育コース

国際的な視野を持った英語教育のリーダーとなれる教員を目指す

このコースでは、即戦力人材として小学校教員、中学校教員または高校教員となって、子どもたちの英語力を高め、国際感覚を養うことのできるリーダーを養成します。

1年次から継続して行われる英語トレーニングの授業と留学や海外研修などにより、自らの英語力の向上を目指すのはもちろんのこと、多様な授業科目により小学校及び中学校、高校で英語を教える力を磨き、さらに国際理解教育に強い関心と意欲を持つ教員を育成します。

A 選択では小学校教諭一種免許状と中学校教諭二種免許状（英語）、B 選択では小学校教諭二種免許状と中学校教諭一種免許状（英語）をそれぞれ取得することができます。また A 選択、B 選択いずれも希望により、小学校教諭一種、中学校教諭一種（英語）の免許状の取得ができ、さらに高等学校教諭一種（英語）の免許状も取得できます。

## 学外

【学校教育体験】		【教育実習】	
4年次	教育ボランティア研修Ⅲ（選択）	4年次	フォロー・アップ実習
3年次	学校インターンシップ基礎実習A（必修）		教育実習総合討論
	教育ボランティア研修Ⅱ（選択）		副専攻実習
2年次	セレクト実習Ⅱ・Ⅲ（選択）		A選択 コア実習（中）
	教育ボランティア研修Ⅰ（選択）		B選択 コア実習（小）
1年次	セレクト実習Ⅰ（選択）	3年次	A選択 コア実習（小）
			B選択 コア実習（中）
		2年次	A選択 プレ実習（小）
			B選択 プレ実習（中）
		1年次	スタート・アップ実習

## 学内

【中学校教科及び教科の指導法に関する科目】	【学校及び教育の諸課題に関する科目等】	【小学校教科及び教科の指導法に関する科目】
英語学、英語文学、英語コミュニケーション、異文化理解の枠組みから、中学校、高校教員として必要な専門知識をバランスよく学んでいきます。 ●英語学概論 ●応用言語学 ●英語文学概論 ●English Communication ●Writing I ●Presentation & Discussion ●Understanding Other Cultures: Basic ●Understanding Other Cultures: Advanced	小学校英語教育や国際理解教育など、専門性の高い、現代的な課題について学びます。また、インクルーシブ教育、児童の発達や心理、特別活動についても幅広く学びます。 ●第二言語習得理論 ●グローバル授業演習（海外研修） ●通常学級における特別支援教育 ●心理発達支援論 ●特別活動の理論と実際 など	外国語を含めたすべての教科について、専門性を高め、自信をもって教えられる力を身に付けます。 ●各教科の指導法（10教科） ●教科についての専門的事項（10教科）
		<b>【専門基礎科目】</b> 大学の授業や実習に関する基礎を学びます。 ●新入生セミナー ●授業研究入門 など

※このほかに、普通教育科目や「卒業論文」などの科目があります。

## 授業紹介

### 発音トレーニング

英語教師として手本となれるよう、英語の発音を基礎から学ぶ授業です。英語と日本語の発音の違いについて知り、自分の発音を修正する力を身に付けます。さらに、英語らしいリズム、イントネーションを練習します。



英語教育コース  
逆井 将弥  
(千葉県出身)

## 学生メッセージ

英語教育コースの魅力は“人”にあります。英語科にはA選択とB選択合わせて各学年40人ほどの学生が在籍しています。英語科の学生は多くの授業と一緒に受講することが多いため、高校までのクラスのような感覚ですぐに仲良くなれます。また、先輩や後輩との縦のつながりや、優しい先生方とのつながりも強く、困ったときは必ず力になってくれます。大学では高校よりも情報の入手と共有が難しいですが、助け合える友達や先輩後輩、先生方の存在は大きくとても心強いです。私も何度も友達や先輩後輩に助けられました。こうした友達や先輩後輩とのつながりは学業だけでなく、サークルやアルバイト、プライベートを含めた皆さんの学生生活をより充実したものにしてくれるでしょう。そんな英語科のみんなと共に、皆さんと会えることを楽しみにしています。

# 特別支援教育コース

発達障害を含む特別な支援を必要とする子どもの教育を実践できる人材の育成を目指す

このコースでは、特別支援学校（知的障害、肢体不自由、病弱）の教育を担える教員を養成します。また社会が大きく変化中、発達障害を含む特別な支援を必要とする児童・生徒が増えていることから、特別支援学校での教育だけでなく、小学校・中学校等の特別支援学級や通級指導教室、通常学級での教育も担えることを視野に入れた専門的知識、技能を身に付けます。

## 学外

【学校教育体験】		【教育実習】	
4年次	教育ボランティア研修Ⅲ（選択）	4年次	教育実習総合討論
3年次	学校インターンシップ基礎実習A（必修）		副専攻実習
	教育ボランティア研修Ⅱ（選択）	3年次	障害児教育フォロー・アップ実習
2年次	セレクト実習Ⅱ・Ⅲ（選択）		障害児教育コア実習
	教育ボランティア研修Ⅰ（選択）		基礎資格実習（小または中）
1年次	セレクト実習Ⅰ（選択）	2年次	障害児教育プレ実習
		1年次	スタート・アップ実習

※この他に基礎免許のための実習があります。

## 学内

【小学校教科及び教科の指導法に関する科目】	【学校及び教育の諸課題に関する科目等】	【特別支援教育に関する科目】
全ての教科について、自信を持って教える力を身に付けます。 ●各教科の指導法（10教科） ●教科に関する専門的事項（10教科）	国際理解教育やインクルーシブ教育など、現代的な課題について学びます。児童の発達や心理、特別活動についても幅広く学びます。 ●通常学級における特別支援教育 ●グローバル授業づくり入門 ●小学校英語実践 ●小学校道徳教育実践演習 ●特別活動の理論と実際 ●心理発達支援論 など	特別な支援を必要とする子どもの教育を行うために必要な専門性を身に付けます。 ●特別支援教育の基礎理論に関する科目（「特別支援教育概論」） ●心理・生理・病理に関する科目（知的障害心理・生理・病理、病弱心理・生理・病理など） ●教育課程や指導法に関する科目（病弱教育学、肢体不自由教育学など） ●その他の科目（LD等・重複教育総論）など
<b>【専門基礎科目】</b> 大学の授業や実習に関する基礎を学びます。 ●新入生セミナー ●授業研究入門 など		

※このほかに、普通教育科目や「卒業論文」などの科目があります。

## 授業紹介

### 知的障害心理検査法演習

同じ障害名であっても、児童生徒の実態やニーズは大きく異なります。この授業では、子ども達をよりよく理解し、教育するために必要な「検査」の考え方や実施方法を実践的に学びます。

### 肢体不自由心理・生理・病理Ⅰ・Ⅱ

体の動きが、どのような筋肉・関節・神経の働きに支えられているのかを確認した上で、一般的な乳幼児と肢体不自由児の姿勢・運動発達を学びます。また、肢体不自由児の「体の動かしにくさ」が、言葉や社会性などの発達領域とどう関係するかについて、事例も交えながら考えます。



## 学生メッセージ

学校教員養成課程  
特別支援教育コース  
佐藤 航太  
(千葉県出身)

このコースでは、特別支援教育について学びたい意欲を持った学生が集まっており、知的・発達障害の方と交流をするサークルや、介助ボランティアなどに参加している学生が多いです。3年以降にはじまる少数ゼミでは、担当の先生方から細かい指導をしていただけます。また、教員採用試験に向けては、学科OBの現職・元教員の方が、面接や模擬授業のご指導をさせていただきます。コース内の同級生同士で協力し合いながら、試験勉強に励んでいます。近年の学校教育では、特別支援学校や特別支援学級だけではなく、すべての現場で特別支援教育が必要であり、大切にされています。一緒に支え合う仲間、様々なことを教えてくださる先生方、実習にて実践的な経験ができる附属特別支援学校など、整った学習環境の中で、ぜひ特別支援教育について一緒に学びましょう！

# 乳幼児教育コース

成長の基盤となる乳幼児期の教育を担い、保幼小の円滑な連携を行う教員を目指す

このコースでは、乳幼児期の教育に関する専門的な理論・知識及び高度な実践力を有する教員を養成します。

乳幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続を意識しつつ、新たな教育的課題に積極的に取り組む姿勢と問題解決能力を有し、生涯にわたる人格形成及び学校教育の基礎としての乳幼児教育の充実を図る教員を目指します。

幼稚園教諭一種と小学校教諭二種の免許状を取得します。保育士資格を取得することも可能です。

## 学外

【学校教育体験】	【教育実習】	【保育実習】
4年次 教育ボランティア研修Ⅲ(選択) 3年次 教育ボランティア研修Ⅱ(選択) 2年次 学校インターンシップ基礎実習B(必修) 小学校セレクト実習Ⅱ・Ⅲ(選択) 教育ボランティア研修Ⅰ(選択) 1年次 セレクト実習Ⅰ(選択)	4年次 フォロー・アップ実習/コア実習 3年次 フォロー・アップ実習/コア実習 プレ実習/介護等体験 2年次 スタート・アップ実習② 1年次 スタート・アップ実習①	3年次 保育実習Ⅱ(保育所実習) 保育実習Ⅰ(施設実習) 2年次 保育実習Ⅰ(保育所実習)

## 学内

大学での学びを現場で実践

現場での課題を大学で探究

<p>【領域及び保育内容の指導法・幼児教育に関する科目】</p> <p>保育内容の5領域について、それぞれの学問的な背景や基盤となる考え方や各領域のねらいや内容を踏まえた保育内容の指導法を学びます。幼児教育に関する専門的知識や実践力を身に付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 領域に関する専門的事項 7科目</li> <li>● 保育内容の指導法 8科目</li> <li>● 保育・幼児教育学概説</li> <li>● 保育・幼児教育研究法</li> <li>● 発達心理学実験</li> <li>● 発達心理学</li> <li>● 保育・子育て支援実践演習 など</li> </ul>	<p>【小学校教科及び教科の指導法に関する科目】</p> <p>幼児期からの発達や学びの連続性を踏まえ、小学校の各教科の内容や指導法を幅広く身に付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教科に関する専門的事項 6教科</li> <li>● 各教科の指導法 10教科(選択)</li> </ul>	<p>【保育士資格取得に関する科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもの身体と健康</li> <li>● 子どもの食と栄養</li> <li>● 乳児保育 など</li> </ul>
	<p>【専門基礎科目】</p> <p>大学の授業や実習に関する基礎等を学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新入生セミナー</li> <li>● 日本国憲法</li> </ul>	<p>【学校及び教育の諸課題に関する科目等】</p> <p>国際理解教育やインクルーシブ教育など、現代的な課題について学びます。児童の発達や心理、特別活動についても幅広く学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 発達障害のある児童生徒と学級づくり</li> <li>● グローバル授業づくり入門</li> <li>● 幼保小教育の連携と接続</li> <li>● 教育英語(乳幼児) など</li> </ul>

※このほかに、普通教育科目や「卒業論文」などの科目があります。

## 授業紹介

### 子どもと表現Ⅰ(音楽表現)

幼児の音楽表現の発達や、環境構成、保育者の役割について、理論的理解と実践的音楽活動を通して学びます。表現の学びの連続性・集大成として、3年次に附属幼稚園で上演する創作ミュージカルに取り組む礎となります。

## 学生メッセージ



学校教員養成課程  
乳幼児教育コース  
飯島 萌花  
(茨城県出身)

みなさんは、子どもは好きですか？私が幼児教育を志した理由の一つは「子どもの可愛さ」でした。しかし、大学入学後に子どもの発達を科学的に捉える発達心理学などの専門的な学びを通して、可愛いだけではない乳幼児の面白さに気付くことができました。また、幼児教育の理論的な学びとともに、子ども理解の授業で附属幼稚園での観察を行ったり、音楽表現の授業で手作り楽器を用いた遊びを体験したりなど、実際の幼児の姿や具体的な活動を通して幼児教育の学びを深めることができています。

保育所や幼稚園での実習では、子どもの遊びの援助に戸惑う場面もありましたが、自分なりの意図をもって指導計画を立てることで、援助を具体的に考えながらより主体的に子どもに関わることができるようになりました。

授業や実習を通して、個性豊かな仲間たちとお互いを高め合いながら、保育者になりたいという思いが確かなものになっていくのを日々実感しています。

# 養護教諭コース

児童・生徒の成長を心と体の両面から支える教員を目指す

このコースでは、発育・発達段階に応じた児童・生徒の健康と成長を支援できる専門性の高い養護教諭を養成します。とくに、養護教諭は児童・生徒との関わりや教職員との連携が重要であることから、様々な活動や体験を通して教養豊かで社会常識を持ち、豊かな感性と柔軟なものの見方、コミュニケーション能力を身に付けた養護教諭を目指します。

小学校・中学校での実習に加え、千葉大学医学部附属病院での臨床実習を行うことで、医療や介護の活動や役割を学び、実践力を身に付けます。

養護教諭一種免許状に加え、わずかな追加単位で中学校教諭一種(保健)、高等学校教諭一種(保健)の免許状を取得できます。

## 学外

【学校教育体験】	【教育実習】
4年次 教育ボランティア研修Ⅲ(選択) 3年次 学校インターンシップ基礎実習A(必修) 教育ボランティア研修Ⅱ(選択) 2年次 教育ボランティア研修Ⅰ(選択)	4年次 コア実習/フォロー・アップ実習/教育実習総合討論/副専攻実習 3年次 プレ実習/介護等体験/臨床実習 2年次 スタート・アップ実習②(保健室参観と健康診断実習) 1年次 スタート・アップ実習①

## 学内

大学での学びを現場で実践

現場での課題を大学で探究

<p>【養護教諭としての活動の基礎】や実践に関する科目等</p> <p>養護教諭としての活動を自信を持って行える力を身に付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 3年次(保健指導の理論と実際、養護活動特別演習、健康相談活動、眼科学、耳鼻咽喉科学、皮膚科学、学校救急処置活動、学校看護実習 など)</li> <li>● 2年次(衛生学及び公衆衛生学、養護実践学概論、養護活動演習、精神保健学、小児科学、外科学・整形外科学、養護教諭と看護 など)</li> <li>● 1年次(小児保健学、学校保健、解剖学、人間機能学、微生物学 など)</li> </ul>	<p>【学校及び教育の諸課題に関する科目等】</p> <p>国際理解教育やインクルーシブ教育など、現代的な課題について学びます。児童・生徒の発達や心理、特別活動についても幅広く学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2年次以後(道徳教育の理論と方法、特別活動の理論と実際、教育方法・技術、生徒指導・教育相談の理論と実際、通常学級における特別支援教育、海外事情と関連指標の理解 など)</li> <li>● 1年次(教育基礎論、教職概論、教育制度と経営論、発達と学習の心理学、特別支援教育の理論と方法、心理発達支援論 など)</li> </ul>	<p>【健康教育に関する科目】</p> <p>養護教諭として健康教育を行う力や保健の授業を担当する力を身に付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 3年次(保健科教育演習、からだの学習、性教育)</li> <li>● 2年次(健康教育論、環境と健康に関する学習)</li> </ul>
	<p>【専門基礎科目】</p> <p>大学の授業や実習に関する基礎等を学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新入生セミナー</li> <li>● 医学概論</li> <li>● 受胎・発育・成長</li> </ul>	

※このほかに、普通教育科目や「卒業論文」などの科目があります。

## 授業紹介

### 養護実践学概論

この授業では養護実践の基礎的な内容を学ぶとともに、「理想の保健室」を考えるグループワークを通じて、学びを実践に活用できる意欲と態度を身に付けます。「自己の理想の養護教諭像」を描くことを目指しています。

## 学生メッセージ



養護教諭コース  
溝口 詩野  
(静岡県出身)

このコースでは現代に生きる多様で複雑な問題を抱える子どもたちに関わる養護教諭について様々な面から深く学ぶことができます。授業では1~4年次を通して、医療や教育に関する基礎的な知識を学び、さらに事例から考える養護教諭の対応や保健指導をグループでロールプレイやディスカッションを通して学ぶ実践的な内容も行います。これらは、養護教諭の実務経験のある教員や医師が講義を行うので、それぞれの専門性を授業で取り入れ、自分の中の養護教諭に対する考えを新しく増やすことができます。そして、幼稚園・小中学校・附属病院で実習を行うことで、授業で得た知識を実践に役立てます。養護教諭を目指す学生たちと関わり合うことで様々な見方や考え方を吸収し、高め合うことができるのが魅力のひとつだと思います。一緒に充実した大学生活を送りませんか。

# 教育実習・学校教育体験

教育学部では、「教育実習」と「学校教育体験」によって、実践力を高めていきます。

## 小学校コース

1年	2年	3年	3年または4年	4年
<p><b>スタート・アップ実習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 附属小学校及び附属中学校において各1回</li> <li>● 授業を見る眼を養う第一歩として、授業を見学し、授業見学の基礎を学びます</li> </ul>	<p><b>プレ実習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 附属小学校または教育実習協力校において2日間</li> <li>● 2日間にわたり様々な授業や学級活動を見学し、児童の学びや教員の役割、授業や学級活動の実際、児童との接し方を学びます</li> </ul>	<p><b>コア実習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 附属小学校または教育実習協力校において4週間</li> <li>● 担当する授業はもちろんのこと、休み時間や給食の時間など、様々な時間を通して子どもたちとふれ合い、小学校教員としての実践力を養います</li> </ul> <p><b>介護等体験</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 特別支援学校で2日間、社会福祉施設その他の施設で5日間</li> <li>● 障害者・高齢者等に対する介護・介助や交流を体験します</li> </ul>	<p><b>フォロー・アップ実習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 実習校において1日間</li> <li>● 実習校で行われる行事への参加を通して、学校という場を様々な面から捉え、理解を深めます</li> </ul>	<p><b>(副専攻の本実習)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 出身校または附属学校園において2～4週間</li> <li>● 主専攻の校種以外の免許状取得を希望する場合、その校種の本実習を行います</li> </ul> <p><b>教育実習総合討論</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「教職実践演習」授業時</li> <li>● 教育実習全般について総合的に振り返ります</li> </ul>

## 小中専門教科コース及び英語教育コース(A選択)

1年	2年	3年	3年または4年	4年
<p><b>スタート・アップ実習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 附属小学校及び附属中学校において各1回</li> <li>● 授業を見る眼を養う第一歩として、授業を見学し、授業見学の基礎を学びます</li> </ul>	<p><b>プレ実習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 附属小学校または教育実習協力校において2日間</li> <li>● 2日間にわたり様々な授業や学級活動を見学し、児童の学びや教員の役割、授業や学級活動の実際、児童との接し方を学びます</li> </ul>	<p><b>コア実習(小学校)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 附属小学校または教育実習協力校において4週間</li> <li>● 担当する授業はもちろんのこと、休み時間や給食の時間など、様々な時間を通して子どもたちとふれ合い、小学校教員としての実践力を養います</li> </ul> <p><b>介護等体験</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 特別支援学校で2日間、社会福祉施設その他の施設で5日間</li> <li>● 障害者・高齢者等に対する介護・介助や交流を体験します</li> </ul>	<p><b>フォロー・アップ実習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● コア実習(小学校)の実習校において1日間</li> <li>● 実習校で行われる行事への参加を通して、学校という場を様々な面から捉え、理解を深めます</li> </ul>	<p><b>(副専攻の本実習)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 出身校または附属学校園において2～4週間</li> <li>● 主専攻の校種以外の免許状取得を希望する場合、その校種の本実習を行います</li> </ul> <p><b>教育実習総合討論</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「教職実践演習」授業時</li> <li>● 教育実習全般について総合的に振り返ります</li> </ul>

## 中学校コース

1年	2年	3年	4年
<p><b>スタート・アップ実習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 附属小学校及び附属中学校において各1回</li> <li>● 授業を見る眼を養う第一歩として、授業を見学し、授業見学の基礎を学びます</li> </ul>	<p><b>プレ実習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 附属中学校において2日間</li> <li>● 2日間にわたり様々な授業や学級活動を見学し、生徒の学びや教員の役割、授業や学級活動の実際、生徒との接し方を学びます</li> </ul>	<p><b>コア実習①・②</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 附属中学校において4週間(①第1・2チーム1週間+②第4・5チーム3週間)</li> <li>● 担当する授業はもちろんのこと、休み時間や掃除の時間など、様々な時間を通して子どもたちとふれ合い、中学校教員としての実践力を養います</li> </ul> <p><b>介護等体験</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 特別支援学校で2日間、社会福祉施設その他の施設で5日間</li> <li>● 障害者・高齢者等に対する介護・介助や交流を体験します</li> </ul>	<p><b>(副専攻の本実習)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 出身校または附属学校園において2～4週間</li> <li>● 主専攻の校種以外の免許状取得を希望する場合、その校種の本実習を行います</li> </ul> <p><b>教育実習総合討論</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「教職実践演習」授業時</li> <li>● 教育実習全般について総合的に振り返ります</li> </ul> <p><b>フォロー・アップ実習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 附属中学校において1日間</li> <li>● 3年生の実習授業の見学などを通して、教科の授業を評価的に見る眼を養うとともに、学校についての理解を深めます</li> </ul>

## 小中専門教科コース及び英語教育コース(B選択)

1年	2年	3年	4年
<p><b>スタート・アップ実習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 附属小学校及び附属中学校において各1回</li> <li>● 授業を見る眼を養う第一歩として、授業を見学し、授業見学の基礎を学びます</li> </ul>	<p><b>プレ実習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 附属中学校において2日間</li> <li>● 2日間にわたり様々な授業や学級活動を見学し、生徒の学びや教員の役割、授業や学級活動の実際、生徒との接し方を学びます</li> </ul>	<p><b>コア実習(中学校)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 附属中学校において4週間(第1・2チーム1週間+第4・5チーム3週間)</li> <li>● 担当する授業はもちろんのこと、休み時間や掃除の時間など、様々な時間を通して子どもたちとふれ合い、中学校教員としての実践力を養います</li> </ul> <p><b>介護等体験</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 特別支援学校で2日間、社会福祉施設その他の施設で5日間</li> <li>● 障害者・高齢者等に対する介護・介助や交流を体験します</li> </ul>	<p><b>フォロー・アップ実習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● コア実習(中学校)の実習校において1日間</li> <li>● 3年生の実習授業の見学などを通して、教科の授業を評価的に見る眼を養うとともに、学校についての理解を深めます</li> </ul> <p><b>教育実習総合討論</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「教職実践演習」授業時</li> <li>● 教育実習全般について総合的に振り返ります</li> </ul>

特別支援教育コース

<p><b>1年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スタート・アップ実習</li> <li>附属等特別支援学校において2回</li> <li>授業を見る眼を養う第一歩として、授業を見学し、授業見学の基礎を学びます</li> </ul>	<p><b>2年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障害児教育コア実習①</li> <li>附属特別支援学校において1週間</li> <li>担当する授業はもちろんのこと、休み時間や給食の時間など、様々な時間を通して児童生徒とふれ合い、特別支援学校教員としての実践力を養います</li> <li>障害児教育プレ実習</li> <li>附属特別支援学校において2日間</li> <li>2日間には様々な授業や学級活動を見学し、児童生徒の学びや教員の役割、授業や学級活動の実際、児童生徒との接し方を学びます</li> </ul>	<p><b>3年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障害児教育フォロー・アップ実習</li> <li>附属特別支援学校において1日間</li> <li>実習校で行われる行事への参加を通して、学校という場を様々な面から捉え、理解を深めます</li> <li>障害児教育コア実習②</li> <li>附属特別支援学校において3週間</li> <li>コア実習①を踏まえ、授業や学級活動などを通して児童生徒とふれ合い、特別支援学校教員としての実践力を高めます</li> <li>基礎資格にかかるコア実習</li> <li>小学校免許状を基礎資格とする場合Ⅱ附属小学校または教育実習協力校において4週間</li> <li>中学校免許状(1教科)を基礎資格とする場合Ⅱ附属中学校において4週間</li> <li>基礎資格となる小学校免許状あるいは中学校免許状(1教科)に必要な実習を、小学校または中学校で行います。基礎資格にかかるプレ実習、フォロー・アップ実習、ガイダンスやオリエンテーションも行います</li> </ul>	<p><b>4年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(副専攻の本実習)</li> <li>出身校または附属学校園において2~4週間</li> <li>主専攻の校種以外の免許状取得を希望する場合、その校種の本実習を行います</li> <li>教育実習総合討論</li> <li>「教職実践演習」授業時</li> <li>教育実習全般について総合的に振り返ります</li> </ul>
---	--	---	--

乳幼児教育コース

<p><b>1年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スタート・アップ実習①</li> <li>附属幼稚園において2回</li> <li>保育を見る眼を養う第一歩として、幼稚園教育を見学し、見方や記録のしかたを学びます</li> </ul>	<p><b>2年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スタート・アップ実習②</li> <li>附属幼稚園において2回</li> <li>幼稚園教育の実際について実践的にその基礎を学びます</li> </ul>	<p><b>3年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護等体験</li> <li>特別支援学校で2日間、社会福祉施設その他の施設で5日間</li> <li>障害者・高齢者等に対する介護・介助や交流を体験します</li> <li>フォロー・アップ実習①</li> <li>附属幼稚園において2日間</li> <li>幼稚園の行事への参加を通して、運営の基礎を学びます</li> <li>コア実習①</li> <li>附属幼稚園において3週間</li> <li>様々な実習経験を通して、子どもの発達を実感するとともに、幼稚園教育全般について学びを深めます</li> <li>プレ実習</li> <li>附属幼稚園において1日間</li> <li>保育を観察し、教育実習の基礎を学びます</li> </ul>	<p><b>4年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(副専攻の本実習)</li> <li>出身校または附属学校園において2~4週間</li> <li>主専攻の校種以外の免許状取得を希望する場合、その校種の本実習を行います</li> <li>教育実習総合討論</li> <li>「教職実践演習」授業時</li> <li>教育実習全般について総合的に振り返ります</li> <li>フォロー・アップ実習②</li> <li>附属幼稚園以外の幼稚園において1回</li> <li>多様な幼稚園教育を参観し、教員としての視野を広げます</li> <li>コア実習②</li> <li>附属幼稚園において2週間</li> <li>担当する年齢クラスでの保育はもちろんのこと、他の年齢クラスの子どもともふれ合い、コア実習①を深めて、教員としての幼稚園教育全般のさらなる実践力向上を目指します</li> </ul>
---	--	---	--

養護教諭コース

<p><b>1年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スタート・アップ実習①</li> <li>附属小学校及び附属中学校において2回</li> <li>授業や保健室活動を見る眼を養う第一歩として、授業や保健室を見学し、養護教諭の活動について見方の基礎を学びます</li> </ul>	<p><b>2年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スタート・アップ実習②</li> <li>附属幼稚園・附属小学校・附属中学校のいずれかにおいて2回</li> <li>保健室見学や健康診断実習への参加を通して、養護教諭の活動の基礎を学びます</li> </ul>	<p><b>3年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プレ実習</li> <li>附属小学校・附属中学校または養護実習協力校において1日間</li> <li>4年生のコア実習②を見学し、養護教諭の活動や児童生徒への接し方を学びます</li> <li>介護等体験(副専攻希望者のみ)</li> <li>特別支援学校で2日間、社会福祉施設その他の施設で5日間</li> <li>障害者・高齢者等に対する介護・介助や交流を体験します</li> </ul>	<p><b>4年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(副専攻の本実習)</li> <li>出身校または附属学校園において2~4週間</li> <li>主専攻の校種以外の免許状取得を希望する場合、その校種の本実習を行います</li> <li>教育実習総合討論</li> <li>「教職実践演習」授業時</li> <li>教育実習全般について総合的に振り返ります</li> <li>フォロー・アップ実習</li> <li>附属小学校・附属中学校または養護実習協力校において2週間</li> <li>保健室における救急処置はもちろんのこと、健康診断や保健委員会の活動など、学校保健・学校安全に関する様々な活動を通して、養護教諭としての実践力を養います</li> </ul>
--	--	---	---

学校教育体験

千葉大学教育学部では教育実習以外にも、インターンシップ実習やボランティア研修など教育支援活動を行う授業を設けています。教育現場での実体験を通じて教育という仕事を理解し、実践力を高めることができます。

●学校インターンシップ基礎実習 (必修)

乳幼児教育コースは2年次に教育学部附属小学校で、それ以外のコースは3年次に、千葉県内の小学校、中学校、特別支援学校(教育学部附属小学校、中学校、特別支援学校を含む)、少年自然の家などで年間100時間程度の実習を行います。

●小学校セレクト実習・中学校セレクト実習 (選択)

選択履修希望者が1~2年次に、教育学部附属小学校または教育学部附属中学校で教育支援実習を行うことができます。

●教育ボランティア研修 (選択)

選択履修希望者が2~4年次に、学校や公立図書館・博物館・青少年自然の家など様々な教育関連機関で行った児童生徒への教育支援活動を、授業として単位化することができます。

# 活躍する卒業生

中学校教員養成課程  
家庭科教育分野  
**豊田 睦月** (千葉県出身)  
高校教諭



私は高校の家庭科教師になりたいという強い思いがあり、入学を志しました。

そのきっかけとなったのが当時の教育学部案内パンフレットです。それまで家庭科という調理実習や裁縫などのイメージが強くありましたが、家庭科教室の紹介ページに掲載されていた、「自分自身がより良く生きる」ための教科であるというメッセージを受け取り、その可能性に惹かれ、入学を志しました。

各教科、選修ごとにアットホームな雰囲気があるところ。入学したばかりの頃は授業の履修の仕方やサークル、アルバイトなど、不安なことがたくさんありますが、先輩からアドバイスを頂いたり、仲間と情報を共有しやすい環境が整っています。各教科の先生も親身に相談に乗ってくださいます。自分自身、そのような環境に何度も救われ、そのおかげで卒業することができたと思っています。

低学年は教養科目が多く、私は、倫理や留学生支援、フランス語など自分の興味のある授業を受講していました。授業で他学部の学生と関わることもできます。年次が上がるにつれ、学部の専門科目が増えます。自分の志した分野、選修の「プロ」になるためのカリキュラムが用意されています。高校までの授業と違い、自分で選んだ道に特化した授業のため、モチベーションも高く授業に臨み、その期待に応じた授業を受講することができます。

大学から募集のある様々なボランティアを行っていました。中でも特に好きだったのが、学校の長期休業期間に行われる子どもキャンプの引率スタッフです。子どもたちの生き生きとした姿に喜びを感じました。スタッフ同士も親睦が深まり、卒業した今でも親交のある人もいます。ボランティアはお金がかからないものが多く、いろんな人と出会い、様々な経験をすることができるためおすすめです。

家庭科は人の数だけ正解がある教科だと思っています。多様な価値観や生き方、暮らし方に触れさせ、生徒の今後の生活や人生を少しでも豊かにする、そんな教師になるため、日々試行錯誤しながら授業づくりに励んでいます。また、資産形成などの金融教育が必修となり、家庭科教育の重要性がますます高まっています。時代の変化に常に柔軟に対応できるよう、謙虚に学び続け、悩み、生徒と一緒に考えていく、そんな教師でありたいです。

「ライバルより1点でも多くとる」ために勉強する受験と、「他社より良い商品やサービスを提供する」ために励む資本主義の社会はよく似ているなあなんて考えながら受験勉強をしていました。一方、教育の目的は「人格の完成」を目指すところであり、ベクトルが少し異なります。人格者を育成せよという意味ではありません。詳しくは受験が終わったら学んでみてくださいね。私は教育のそんなところが好きです。

なぜ千葉大学教育学部へ？

千葉大学教育学部の魅力は？

大学の授業はどうでしたか？

どんな学生生活でしたか？

どんな教師になりたいですか？

受験生にとって



小学校理科選修  
**鈴木 咲希** (千葉県出身)  
小学校教諭

将来教員になることを目指していたので、教員養成課程のある千葉大学を志望しました。複数校種、複数教科の教員免許状を取れること、外国の子どもたちに授業を英語で行うプログラムがあったことも志望理由の一つです。また、高校生の時に千葉大学の授業を受ける機会があり、その授業が難しくも面白かったため、千葉大学教育学部に進学しようと思いました。

教員になることを念頭に置いたカリキュラムだと思います。学校現場での実習が早いうちから組まれていることや、元々専門性の高い中学校や専門教科コースだけでなく、小学校コースでも教科の専門性をもてること、卒業生の教員の人数が多いからこそその現職教員との繋がり、現職教員が長期研修として千葉大学に学びに来ていて関わる機会があることなどは、他にはない魅力だと思います。

様々な分野の授業があり、学びがいのあるとても楽しいものでした。好きなこと、得意なことに関して広く深く学べるだけでなく、苦手なことについても得意な友人や専門の先生方の力を借りて知識を身につけることができます。また、教員になる上で必要な授業だけでなく、希望すれば他学部の授業も受けることができ、教員免許状以外の資格取得も狙うことができます。

教育学部の授業はもちろん、他学部の授業やアルバイト、子どもに関わるボランティア、旅行、外国で授業を行うツインクル、部活動、卒業研究など、やりたいことを全て詰め込んだのでとても忙しい学生生活でした。しかし、その分とても楽しく過ごさせてもらいました。それぞれの場所で出会った人、全力で参加したからこそ得られた経験は、今の私の力になっていると思います。

子どもたちが成長するにあたって必要な支援ができる教員になりたいです。「わかった」「できた」を増やして学ぶことの楽しさを伝え、将来やりたいことを見つけた時に積極的に挑戦できる力を養いたいと思います。また、一人一人違う課題を持つ子どもたちに寄り添い、学力だけでなく、生活面や対人スキルについても支援したいです。子どもたちの将来を見据えつつ、今その瞬間の楽しさや喜びも大切にしていきたいです。

受験勉強で学んだ知識を基盤として、大学でさらに広く深く学んでいくこととなります。子どもたちは、一人一人いろいろなことに興味を持ちます。好奇心旺盛な子どもたちと過ごす中で、知識はあるに超したことはありません。私は学ぶことが楽しかったから、子どもたちにもその楽しさを伝えたくて教員を目指しました。受験勉強は苦しい思いもするかもしれませんが、必ず自分の力になると思います。応援しています。

# 留学するには

千葉大学は、世界を舞台に活躍する学生を応援しています。本学に在籍したまま海外の協定校へ留学生学生交流をすることが可能で、語学力の向上や国際理解、自己成長のためにも、非常に貴重な体験となることでしょう。詳しい情報は千葉大学 HP や千葉大学教育学部 HP を御覧ください。以下のプログラムは、教育学部で行っているものです。

## 千葉大学海外派遣プログラム

教育学部小学校教員養成課程ものづくり専修

**小松 祥也** (千葉県出身)

私は、海外での生活を体験してみたいということと、英語力を伸ばしたいという気持ちから、留学をしたいと考えていました。また、大学で教育を学ぶ中で、実際の海外での教育現場を見てみたいと考えようになり、交換留学での留学に挑戦することにしました。大学は、自分の英語力と教育が学べるかどうかで選び、ウィスコンシン大学ミルウォーキー校に一年間留学しました。



留学で大変だったことは、準備するものの多さでした。渡航先の大学との手続き、英語や学業の準備、必要な書類などやらなければいけないことが多いなかで、ワクチンの接種や、渡航先のコロナの状況確認なども並行して行わなければならず大変でしたが、留学生課の方々や渡航先の大学のサポートのおかげでしっかりと準備をして留学することができました。

留学中は勉強、プライベートともに充実させることができました。勉強としては、教育の授業でアメリカでの教育に対する考え方や、文化の上での教育を学ぶことができ自分の中の価値観が変わったように感じます。また、授業の一環として地元の小学校を見学することができ、実際の教育現場を見るなかで多くの学びがありました。また、私は寮でアメリカ人の学生と住んでいたのですが、その友達と遊びに行ったり、その家族の家にお邪魔したり、旅行に行ったりすることができ楽しかったです。他の国からの留学生も多く、ロシアや中国、韓国など様々な国の人たちと英語という言語でコミュニケーションが取れるということは新鮮、貴重な経験でした。ミルウォーキーには有名な NBA チームがあるため間近で NBA を見られたことも嬉しかったです。

留学の経験で得た力としては、英語力のほかに行動力や計画性があると考えています。留学中は、友達作りやイベントなど積極的に行動しなければ得られなかった経験が多く、それを介して行動力を養うことができたと思います。また、渡航準備や留学中の勉強など、計画してやらなければならないことも多く、様々なことを考え準備していく計画性も身についたと思います。

## ツインクルプログラム

教育学研究科学校教育学専攻言語・社会系

**藤谷 真麻** (富山県出身)



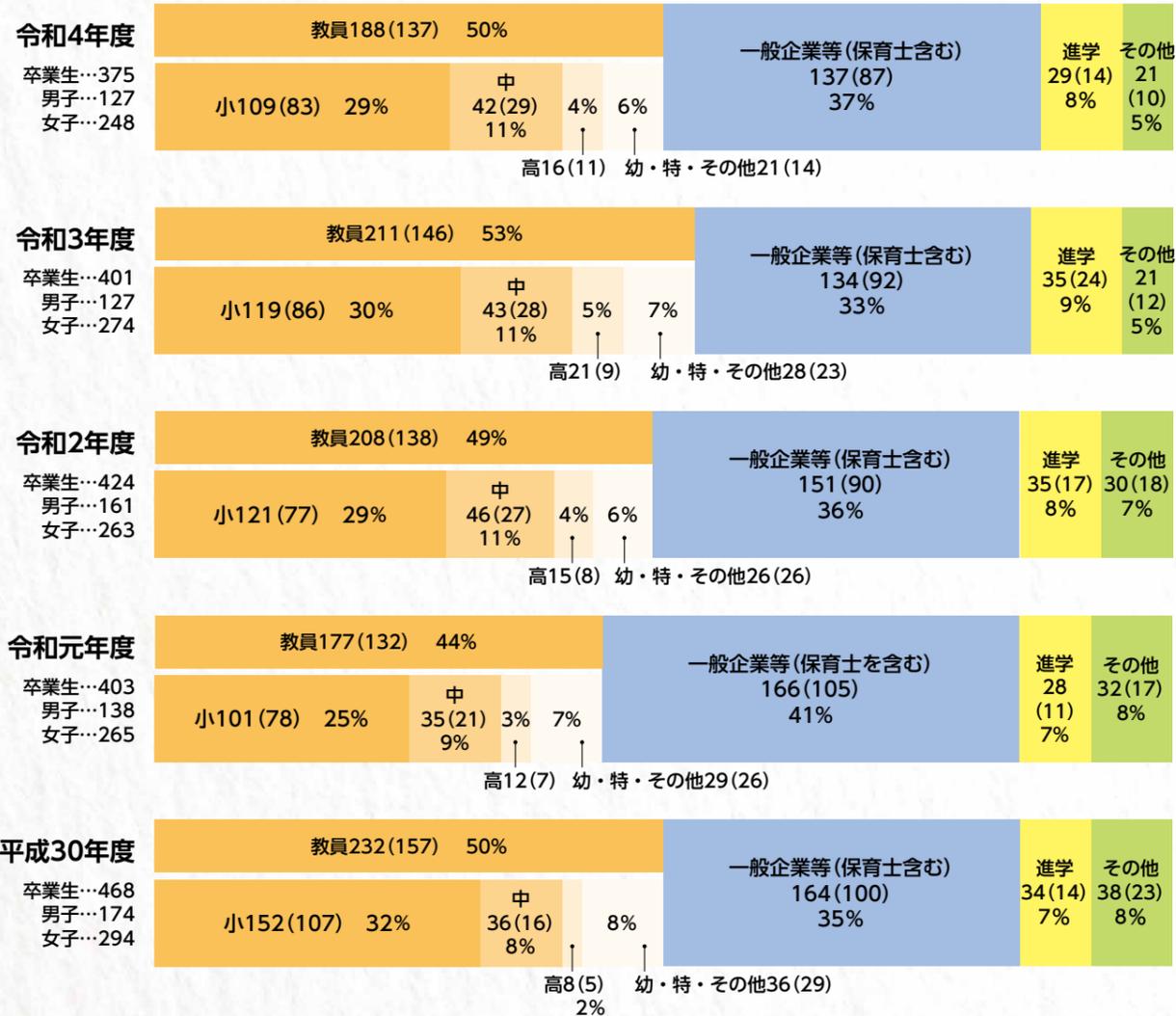
ツインクルプログラムは ASEAN 諸国に赴き、現地の中学校・高等学校で教師役となって、日本語・日本文化や千葉大学の先端研究をテーマにした授業を実践するプログラムです。

私が本プログラムに参加しようと思ったのは、海外で英語を用いて授業を行うというプログラムの内容に魅力を感じたからです。私が参加したベトナムでの2週間の留学では、紙コップを用いたスピーカーの作成と日本文化の授業を現地の中学生・高校生に行いました。また、ベトナム国立大学を見学し、現地の文化や科学技術に触れる体験をしました。

本プログラムでは ASEAN の交流協定大学との相互の派遣を行っているため、派遣前に現地で行う予定の授業を留学生に見てもらったり、日本で知り合った留学生が派遣時に現地を案内してくれたり、ASEAN の学生と交流することができます。ベトナムへの派遣前は現地での過ごし方について不安もありましたが、現地の学生との交流を通して現地の文化に触れることができ、不安も解消されました。滞在中は授業実践の前後でほぼ毎日現地の学生とともに過ごし、一緒にご飯を食べに行ったり買い物したりしていました。留学が終わった今でも学生とのやりとりは続いていてプログラムがきっかけで友情を築くことができました。

また、海外の学校での授業実践は、私に教育について改めて考える機会を与えてくれました。国が異なるので、使用言語や教室・学習環境など日本との相違点はもちろんありますが、子どもたちが問題に正解したときの喜びや内容を理解したときの学びの楽しさを感じている瞬間は万国共通であると授業実践を通して感じました。ツインクルプログラムに参加したことで、ASEAN の教育や文化に触れることだけではなく、自国の教育について改めて考える貴重な経験をできたと思います。

# 卒業後の進路状況(過去5年間)



※グラフ内の( )は内数で女子を示します。 ※小・中・高は各々公立のもの。調査月日は当該翌年5月1日現在。  
 ※教員の「幼・特・その他」は、幼稚園・特別支援学校・国立学校・私立学校等です。

## 多くの卒業生が教員として活躍

—手厚いサポート体制—

多くの卒業生が教師として千葉県をはじめ全国で活躍しています。

校長経験者から直接指導を受けられる「教職サポートルーム」や各種セミナーなどで、将来の就職や進路に関する活動を手厚くサポートしています。

## 大学院でスキルアップ

—教育現場で必要とされる専修免許状取得へ—

千葉大学教育学部卒業後、千葉大学大学院教育学研究科に進学しスキルアップを果たしている先輩も大勢います。本学の教育学研究科は、「修士課程」「専門職学位課程」の2課程から成り、専門性と実践力を高めます。

さらに、東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科(後期3年だけの博士課程で、東京学芸大学を基幹大学とし、埼玉大学・千葉大学・横浜国立大学との連携協力の下に組織された連合大学院)へと進学することにより、体系的に継続して研究を進めることができます。

# 入試情報・過去の志願倍率

## 入試情報(令和6年度入試)

コース	総合型選抜	前期
小学校コース	●	●
中学校コース	●	●
小中専門教科コース	●	●
英語教育コース	●	●
特別支援教育コース	●	●
乳幼児教育コース	●	●
養護教諭コース	●	●

※教育学部の全コースで、総合型選抜を行います。  
 ※一般選抜では、教育学部の全コースで前期日程入試を行います。後期日程入試は行いません。  
 ※詳細については、入学者選抜要項やそれぞれの募集要項をご参照ください。

## 過去3年間の入試志願倍率

コース・選修・分野	年度・種類	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		前期日程	総合型選抜	前期日程	総合型選抜	前期日程	総合型選抜
小学校コース	国語科選修		3.2		2.7		4.0
	社会科選修		4.0		2.3		1.5
	算数科選修		3.2		3.3		4.5
	理科選修	2.5	2.3	2.3	2.0	2.4	3.5
	教育学選修		4.0		3.2		5.3
	教育心理学選修		4.5		3.3		3.0
	ものづくり選修		0.7		1.0		1.7
中学校コース	国語科教育分野	3.5	6.5	2.3	1.0	2.5	5.5
	社会科教育分野	5.2	4.5	3.4	2.5	4.0	8.5
	数学科教育分野	3.9	5.5	5.5	6.0	5.4	7.5
	理科教育分野	2.3	2.5	3.5	3.5	3.0	0.5
	技術科教育分野	2.2	2.0	3.0	2.5	1.6	1.5
小中専門教科コース	音楽科教育分野	1.3	2.0	1.3	1.2	1.4	2.0
	図画工作・美術科教育分野	1.3	2.7	1.5	2.3	1.0	0.7
	保健体育科教育分野	3.3	3.6	2.3	3.2	1.9	3.2
家庭科教育分野	3.3	1.7	1.8	1.7	2.2	2.7	
英語教育コース		3.2		3.3		2.3	2.9
特別支援教育コース		2.2		1.9		1.6	1.7
乳幼児教育コース		2.9		4.6		3.3	6.6
養護教諭コース		2.5		8.4		2.2	5.0
平均倍率		2.6		3.5		2.4	2.9

※前期日程入試では、小学校コースにおいては、7選修を1つの選抜区分として選抜を行っています。

# 関連組織・教育研究施設の紹介

## 関連組織

### 附属学校園

附属の学校として、幼稚園、小学校、中学校及び特別支援学校があります。これらはすべて千葉市内、そして特別支援学校以外は学部と同じ西千葉キャンパス内にあります。

附属学校は、一般公立学校と同様に幼児、児童、生徒の教育を行っていますが、さらに附属学校の独自性として、

- ①教育実習生の指導
- ②教育研究開発
- ③地域教育界への貢献

という役割を担っています。

こうした役割があるために、附属学校教員と学部教員との連携協力が活発に行われています。



附属幼稚園



附属小学校



附属中学校



附属特別支援学校

### 教員養成開発センター

教員養成開発センターは、教員養成ならびに教員研修に関わる研究・教育、事業を行うことを目的としています。右の7つの内容を中心に、事業毎にプロジェクトを立ち上げ、学部教員や関係機関と連携しながら活動を進めています。



現場教師と学生が学び合う授業

- |  |
|--|
| <p><b>1 現職教員研修に関する事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●長期研修生(委託研究生)への支援</li> <li>●教員免許状更新講習/免許状認定講習の実施運営</li> <li>●教員研修に関する研究</li> </ul> |
| <p><b>2 教育研究 グローバル化 推進事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ASEAN地域の学校への学生派遣</li> </ul>   |
| <p><b>3 ICT教育に関する事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ICT教育の研究と研修に関する支援</li> </ul>   |
| <p><b>4 地域教育貢献に関する事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●高大連携事業への協力</li> <li>●県内高校(教員基礎コース)への支援</li> </ul>                                 |
| <p><b>5 全学教職支援に関する事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教育学部以外の教員免許状取得を目指す学生への支援</li> </ul>   |
| <p><b>6 産官学連携教育推進事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●産業界や地方自治体・教育委員会・学校との連携</li> </ul>  |
| <p><b>7 その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教員研修講師</li> <li>●教育相談、学習方法に関する学校支援</li> <li>●学部、大学院での授業</li> </ul>                         |

## 教育研究施設の紹介

### アカデミック・リンク・センター (附属図書館)

“考える学生の創造”を目指し、2012年3月にオープンしたアカデミック・リンク・センター。

「空間=〈アクティブ・ラーニング・スペース〉」「コンテンツ=〈コンテンツ・ラボ〉」「人的サポート=〈ティーチング・ハブ〉」の3つの機能により、多様な学びのきっかけを提供します。

図書館機能の高度化を図り、新たな学習環境をつくりだしました。



### 運動施設



陸上競技場、サッカー・ラグビー場、テニスコート、野球場、プール、ゴルフ練習場、第一体育館、第二体育館、武道場などがあります。

以前は土だったサッカー・ラグビー場は、広域避難場所災害防災拠点の整備、並びに学内施設の充実を目的として人工芝が敷かれました。

### English House

リラックスした雰囲気の中で自分のペースで語学を学び、練習できる空間です。英会話の個別レッスン(対面またはオンライン)や、さまざまなワークショップに参加して、語彙、リスニングの能力を高めることや留学、外国語検定試験などの準備に役立てることができます。

また、海外の文化を体験し、日本人学生と留学生が交流できるさまざまなイベントを開催しています。



● 千葉大学教育学部の最新情報は本学部ホームページを御覧ください

● <https://www.education.chiba-u.jp>



● 千葉大学教育学部の入試に関する情報や学生募集要項の請求は、以下にお問い合わせください



千葉大学教員養成系学務課入試係

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33 電話 043-290-2515



千葉大学ホームページでも情報を提供しています



<https://www.chiba-u.ac.jp/>

